

## 首都圏空港の物流・人流について

令和6年9月3日

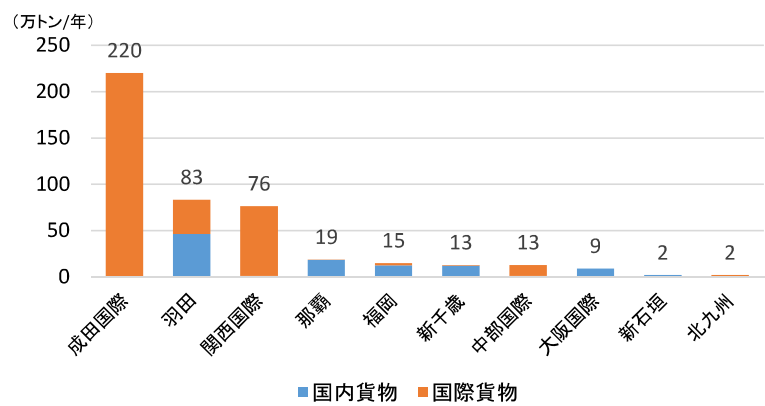
千葉県道路協議会

首都圏空港道路ネットワーク検討分科会

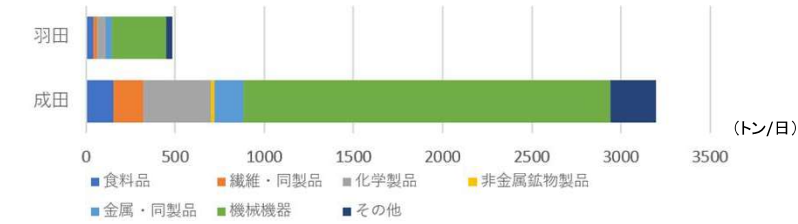
# 首都圏空港の物流・人流について

- 成田空港は、国際貨物の取扱量が全国第一位であり、空港からの出荷先も都内が第一位
- 成田空港へ到着した旅客のうち4割以上の目的地が東京都内であり、最も多い
- 首都圏空港が一体となって機能を発揮するには都内への円滑なアクセスの確保が重要

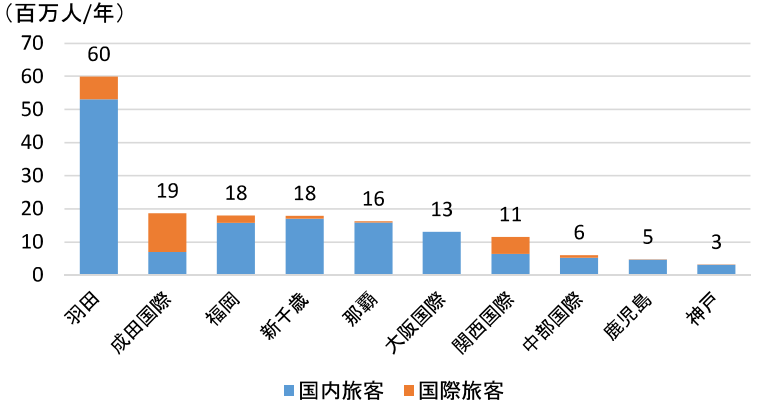
## ■空港別貨物取扱量順位(令和4年度)



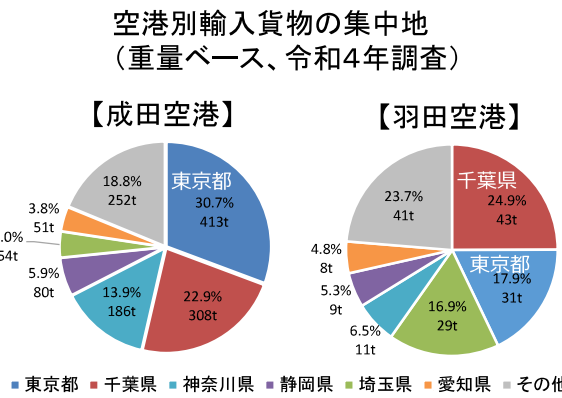
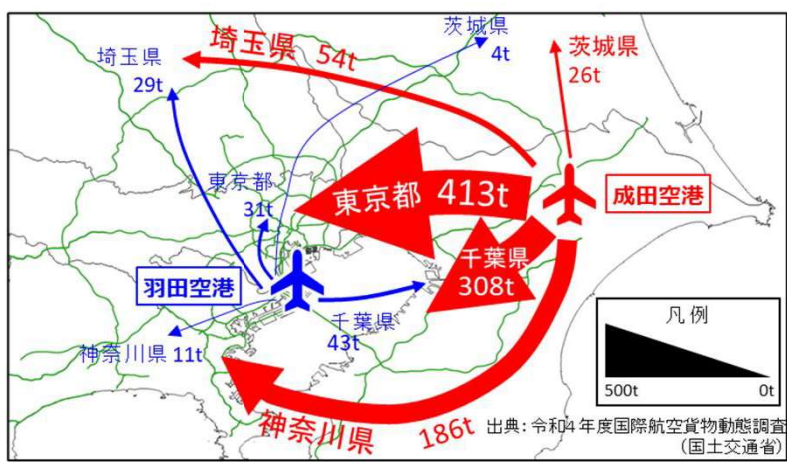
## ■国際貨物取扱量(重量ベース・輸出入合計、令和4年調査)



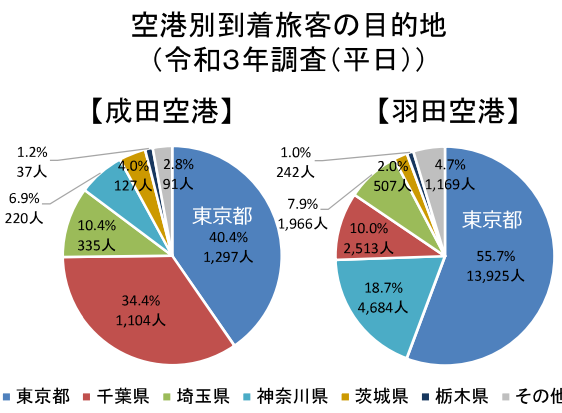
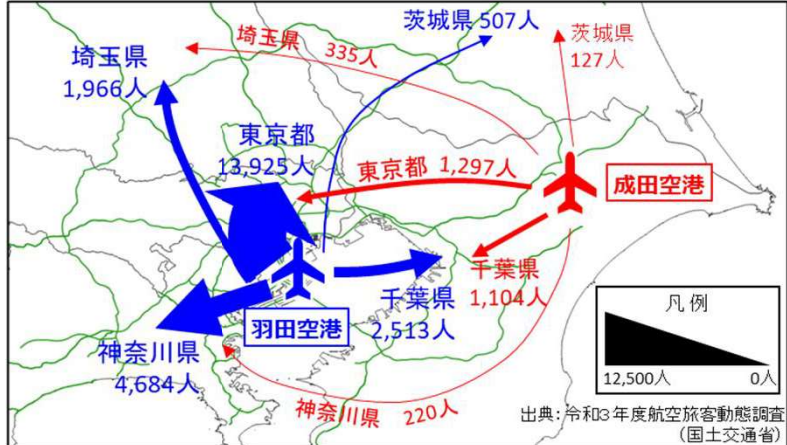
## ■空港別乗降客数順位(令和4年度)



## ■成田空港・羽田空港への輸入貨物の集中地(重量ベース、令和4年調査)



## ■成田空港・羽田空港の到着旅客の目的地(令和3年調査(平日))

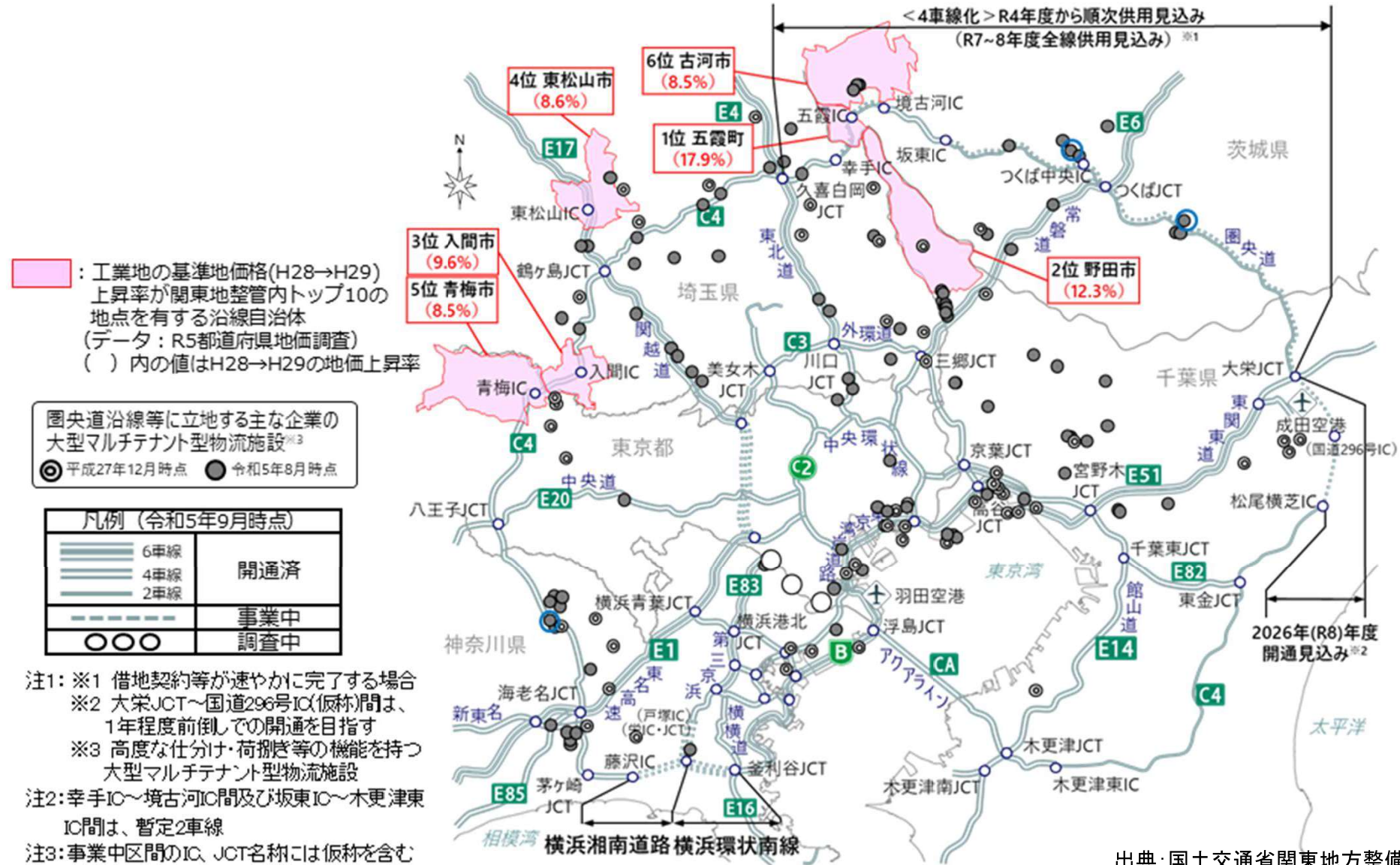


貨物データの典拠: 令和4年度国際航空貨物動態調査(国土交通省)  
 旅客データの典拠: 令和3年度航空旅客動態調査(国土交通省)

# 首都圏空港の物流・人流について

○圏央道沿線や湾岸地域は大型物流施設の立地が進展しており、今後も交通需要の増加が見込まれる  
 ○成田空港周辺も空港機能強化を受けて大型物流施設の立地計画が促進することが想定

## ～基準地価格（工業地）の上昇及び大型マルチテナント型物流施設の立地～



# 首都圏空港で計画されている機能強化(成田空港)

8/26国家戦略特別区域諮問会議(第64回)  
資料2「成田空港を核とした国際航空物流拠点機能強化について」より抜粋

## 成田空港の更なる機能強化・成田空港周辺における環境整備 国土交通省

○成田空港においては、滑走路の新設等により貨物取扱量が増加することから、これらの空港施設整備とあわせた環境整備が必要。

### 「更なる機能強化」の整備状況

○令和10年度末目途の供用を目指して成田空港の滑走路の新増設を推進。既に準備工事に着手済み。今後、本格工事に着手予定。



### 鉄道共同輸送サービスの実証実験

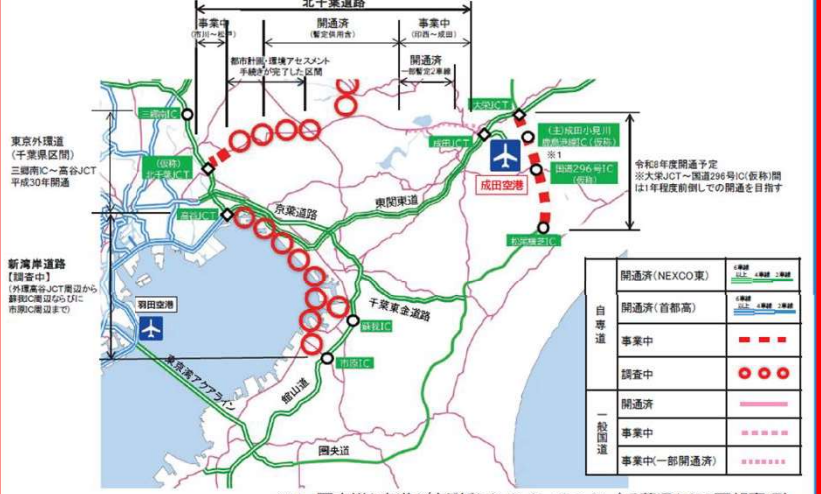
○モーダルシフト推進の観点から、成田空港会社、日本貨物鉄道株式会社等において、関西地区から成田空港を利用して輸出される航空貨物を対象に、パレット単位でも利用可能な鉄道共同輸送サービスの実証実験を開始。

### 高規格道路ネットワークの整備等の取組

○成田空港周辺の高規格道路ネットワークについて、事業中の箇所に加えて、更なる充実に向けた調査・検討を加速化

【事業中・調査中の箇所】

- ・圏央道(大栄～松尾横芝)は、令和8年度に開通予定\*
- ・北千葉道路(市川～松戸区間)は、外環道との接続部で有料道路事業を活用しながら、事業推進中
- ・新湾岸道路は、計画の具体化に向けた概略ルート等の調査推進中



※1 圏央道と空港を結ぶ新たなインターチェンジ(千葉県からの要望事項)

○東京湾アクアライン(上り線:木更津→川崎方面)において、令和5年7月から、土日・祝日に時間に応じて料金を変動させる社会実験の取組(ピークロードプライシング)を実施中であり、効果的分析・評価の上、効果的な料金を検討

### 【岸田総理 発言抜粋】

今回新たに、成田空港を核とした国際航空物流拠点機能の強化について、日本全体の競争力強化の観点から、国家プロジェクトとして取組を加速してまいります。

国土交通省を始め関係省庁においては、地元自治体と連携して、国家戦略特区制度の活用や関連インフラの整備を含めて、総合的な支援策を取りまとめてください。